

戸田康之さん『おばけやしき』（8月15日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日は、おばけやしきについてのお話です。

私は今、ろう学校の教員をしています。幼稚部の教員です。もう17年になります。

12年前、私は年長クラス、つまり5歳児のクラスを受け持っていました。その時に、子どもたちと遠足に行き、行った先の遊園地にお化け屋敷がありました。これはいい経験になると思い子どもたちをお化け屋敷に無理やり行かせたのですが、みんな大泣きでした。その後も強烈に覚えていたようで、その後にあった文化祭のためにお化け屋敷を一生懸命作り、とても立派なお化け屋敷ができました。壁に穴をあけて通る人の足を掴めるようにしたり、飛び出てきて脅かしたり、いろいろなしかけを作ってお化け屋敷の準備をし、文化祭ではお父さんやお母さんたちをお化けて驚かせて大成功の1日でした。それが12年前のことです。

そして今年、私はまた年長クラスの担任になりました。またお化け屋敷をやるのがいいんじゃないかなと考えましたが、今はコロナで遠足に行くことができません。どうしようかと考え、12年前にお化け屋敷をやった時の動画があるので、それを今の受け持ちの子どもたちに見せました。すると子どもたちは一気に引き込まれ、同じのをやりたいと言うので、6月からお化け屋敷を作り始めました。完成後は、年下の子たちに遊びに来てもらったり、小学部の子たちが隣の教室にいるので来てもらったりして、毎日毎日7月までずっとお化け屋敷をやりました。子どもたちだけではなく、ろう学校の他の学部先生たちも見に来て、そのたびに子どもたちは来た人たちを脅かして楽しんでいました。12年前は1日だけのものでしたが、今回は7月中毎日お化け屋敷をやっていました。

年少、年中の子たちや小学部の子たちは遊びに来たけれど、ぜひ来てほしかったのが、12年前にお化け屋敷を作った子たちです。今は高校2年生になっています。彼らにぜひ来てもらいたいと思ってお願いしてみるとみんな来てくれました。みんな、幼稚部の時に自分たちがお化け屋敷を作ったことや楽しかったことをよく覚えていて、今の幼稚部の子たちが作ったものを見て、自分たちが作ったのとおんなじだ！と感心していました。見に来てくれたお兄さんお姉さんたちに、幼稚部の子たちは楽しそうにお化けをやっていました。その後に交流する時間があり、「前に自分たちもやったけど、みんなとっても上手に作れててすごい」とか「脅かされてすごくびっくりしちゃったよ。上手だね！」などと言われて、幼稚部の子たちも大喜びです。12年前と今の幼稚部の生徒たちの交流もできて本当に良かったです。

またいつか、今5歳の子たちが10年後高校生になったら、幼稚部の子たちが作ったお化け屋敷に招かれて交流ができるでしょうか…。